

漁業の概要

銚子地区では大型漁船による火光利用のさんま棒受網漁業が営まれています。内房地区と同様に夏から秋にかけて道東沖から三陸、常磐沖へとサンマの南下に合わせて長期航海をしながら操業を行っています。

冬から夏にかけては、かじき等流し網漁業(刺網漁業の一種)や遠洋かつおまぐろ漁業を行ってマグロ類やマカジキ等を漁獲しています。

さんま棒受網漁業は北海道釧路や三陸の各漁港を基地として操業し、乗組員は船上生活が基本となります。

かじき等流し網は主に銚子漁港から出入港して操業することになります。



サンマの水揚げの様子

漁業収入モデル (乗組員として新規就業時)

月 給	30～40万円+歩合
賞 与	—
備 考	—

※漁師.jp求人情報より引用

※年、資源状況等によって変動することがあります。

年間操業計画

漁業種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
さんま棒受網								←	→	→	→	→
かじき等流し網	←	←	←	←	←	←	←					

1日の操業スケジュール例

▼さんま棒受網漁業(8月～12月)

15:00～	漁場で魚群探査・操業準備
日没	操業開始
明け方	操業終了
7:00～9:00	帰港、水揚げ
水揚げ後	出港・漁場へ移動

▼かじき等流し網漁業(1月～5月)

15:00～16:00	操業(投網)
19:00～24:00	操業(揚網)
4:00～6:00	帰港・水揚げ作業
水揚げ後	出港・漁場へ移動

就業と漁労作業

大型漁船の航海士、機関士などの海技士資格を持つ船舶職員又は甲板員として従事することになります。夜間操業や長期航海など他の漁業と比較して体力、精神力ともに求められますが、その分他の漁業より給料等が高いのが特徴です。就業後は、技術と経験を積み、海技士資格を取得して漁労長や機関長等の幹部職員を目指すことになります。

さんま棒受網漁業では、集魚灯を操作して魚群を敷網上に誘導し、魚取部に貯まったサンマをフィッシュポンプで魚倉に水揚げするなどの各作業を分担して行います。

かじき等流し網漁業では、投網や揚網、網に掛かった魚の取り外し作業を共同で行います。